

船穂小学校 校長室だより

令和3年9月28日

第5号

2学期が始まり1か月

今月いっぱい、まん延防止等重点措置が解除されそうですが、現時点では、まだ学校での教育活動は制限されているものがたくさんあります。朝の歌は、飛沫対策で歌っていません。校外学習や外部の人を招いての学習もしていません。でも、子どもたちは毎日元気に学校へ来て、勉強や運動に励んでいます。子どもたちの元気な姿は、私たち教職員のパワーの源です。

教室で1人1台端末を使うことが増えています。授業にうまく取り入れることで、子どもたちの意欲が増し、学習が深まります。そして、倉敷市でもオンラインによる授業配信が始まりました。これは保健所の指示で登校できない子が、授業をオンラインで見ることができるようにするものです。自宅に子どもが使える端末がない場合は、学校で使っている端末を持って帰ることも可能になりました。

しかし、他県では、学習に役立たせるための端末で友だちの心を傷つける事例が起きています。そのようなことが起こらないように、学校では繰り返し指導をしています。ご家庭でも機会あるごとに話をいただけるとありがたいです。

あいさつ がんばっています。

昨日の朝、登校指導に向かっていると、遠くからあいさつをする子どもたちの声が聞こえてきました。交通安全のために立ってくださっている方へのあいさつでした。その声を聞いてとてもさわやかな気持ちになりました。一日を気持ちよくスタートするために、朝のあいさつは欠かせません。

最近、6年生がとてもがんばってあいさつをしています。そのおかげで、あいさつ運動への参加者が増えました。もちろん、がんばっているのはあいさつだけではなく。朝の掃除や1年生の世話、委員会活動など、いろいろなところで、たくさんの子が他の人のためにがんばっています。



1学期末に子どもたちにアンケートをしました。「大きな声であいさつをしている」には、66%の子どもが「はい」と答えました。あいさつへの意識が高まってきていると感じます。

4年生以上にたずねた「自分には良いところがある」は、「はい」が42%と少なめでした。「よいことをした時、がんばった時、先生はほめてくれる」は「はい」が73%でした。

これからも子どもたちをしっかりとほめ、全員が「自分には良いところがある」ことに気付いてほしいです。